

	必要数	実配置数	不足数
主任支援員(要資格)	104人	79人	25人
支援員(要資格)	273人	223人	53人
補助員	—人	—人	65.2人
合計	646人	502.8人	143.2人

※補助員は週5日勤務と週4日勤務を1人とカウントし、週1日勤務は0.2人、週2勤務は0.4人、週3勤務は0.6人と換算。

子どもたちは夏休みです。就労などで保護者が日中留守になっている家庭の子どもたちの多くが、放課後ルーム(学童保育)に通っています。現在、船橋市内小学校55校に合計10

子どもの夏休み

放課後ルーム(学童保育)も職員が大変です!

子どもたちは夏休みです。就労などで保護者が日中留守になっている家庭の子どもたちの多くが、放課後ルーム(学童保育)に通っています。現在、船橋市内小学校55校に合計10

4ルーム設置され、7月1日現在で5622人の児童が通っています。

放課後ルームでも教員や保育士と同様、職員不足が深刻です。各放課後ルームには主任支援員、支援員、補助員が児童数に応じて配置されていますが、必要数

就労条件の改善が急務



開所時間中は必ず要資格者を置かなければならないのですが、欠員が多く、開所時間の午前8時から午後7時までと長い夏休み中は、要資格の主任支援員と支援員に過大な負担を強いています。本来の勤務時間が6時間のところ、午前8時から午後7時の11時間勤務を、何日もせざるを得なくなっています。実際には朝は子どもたちの受け入れ準備があり、開所時間前には出勤し準備をするので、さらに長時間の勤務となっています。

104ルームのうち69ルームが定員を超えて児童を受け入れ、定員の120%を超えるルームも出ています。すし詰め状態の

市は「職員を募集しても集まらない」と言うばかりですが、募集したら集まるような労働条件への改善が急務です。

市は「職員を募集しても集まらない」と言うばかりですが、募集したら集まるような労働条件への改善が急務です。

放課後ルームで、子どもたちの生活を支えるため緊張し続け、さらに人手不足で、職員の勤務状況は過酷です。休憩もまともに取れず、昼食も「立ったまま」ということさえ起きています。献身的な職員の過重な労働で、子どもたちの夏休みが支えられているという実態です。



日本共産党船橋市議団主催
無料法律相談
8月9日(水)
9月20日(水)
 弁護士が相談を受けます
 労働相談も受けています
 会場：中央公民館
※会場が変更する場合がございます
 時間：午後1時～4時
 予約：☎436-3030

日本共産党船橋議員団
ミニにゅうす

日本共産党国会議員団千葉事務所 ☎043-302-2005
 千葉県議 丸山 慎一 ☎047-424-6347
 <市議団控室☎047-436-3030 FAX047-420-7201>
 船橋市議
 岩井友子 ☎047-438-8647
 金沢和子 ☎047-422-5278
 かなみつ理恵 ☎047-473-0678(事務所)
 神子そよ子 ☎047-769-7271
 松崎さち ☎047-401-3925(事務所)
 ▲市議団ホームページ

オスプレイの習志野演習場での訓練中止と木更津配備撤回を求める署名

船橋市長 松戸 徹様

2020年7月に木更津駐屯地にオスプレイの配備が強行されました。防衛省は今後17機までオスプレイを増やそうとしています。習志野演習場での訓練は船橋市・八千代市・習志野市(以下3市)を合わせて100万人が住む人口密集地の上空を通過することになり、3市の住民は、墜落への不安や経験したことのない騒音などに、脅かされ続けることとなります。上記3市の市民のいのちと安全、くらしと財産を守るため私たちはオスプレイの訓練と3市上空通過の中止、木更津配備の撤回を強く求めます。

1. 配備されたオスプレイについて、市として積極的に情報を収集し、市民に公開してください
2. 防衛省を呼んで船橋市において公開の場で説明会を実施してください
3. 習志野演習場でのオスプレイをつかった訓練を行わないように防衛省に求めてください
4. オスプレイの移動にともなって3市上空を飛行することがないように防衛省に求めてください
5. 陸上自衛隊木更津駐屯地へのオスプレイ配備に船橋市として撤回の声を上げてください

氏名	住所
	千葉県
	千葉県
	千葉県

どこの空にもオスプレイはいらない@フナバシ

問い合わせ先: noosprey2784@gmail.com
 twitter... @noosprey2784
 facebook... どの空にもオスプレイはいらない



保障は国の専管事項であるから」と答えるのみでした。墜落を繰り返すオスプレイに搭乗させられる自衛官は船橋市民もいます。オスプレイによる市民の犠牲を誰一人も出さない覚悟で、船橋市が国に対して強い姿勢で要望すること求めています。

オスプレイはいらない署名 3992筆!

市民グループ「どこの空にもオスプレイはいらない@フナバシ」が7月28日に船橋市長あての署名509人分(累計3992人分)を提出し、危機管理課と懇談を行いました。この署名では①習志野演習場で

プターの騒音でも苦痛なのに、それ以上にうるさいオスプレイなどありえない」「昨夏の5人が死亡した墜落事故の原因が機体の構造上の欠陥であったことを米軍が認め、自衛隊機も一時飛行停止になっている今、市からも国に対して、配備撤回をしっかりと求めるべきだ」などの発言に対し、市は「週に一度、防衛局に電話をし、情報を求めている」、「安全保障は国の専管事項であるから」と答えるのみでした。